## 入札公告の訂正

令和２年６月17日
東日本高速道路株式会社　関東支社
支社長　良峰　　透

◎調達機関番号　417　◎所在地番号　11

1　掲載日　令和２年４月６日（号外政府調達第62号・14～15ページ）

2　訂正内容　3⑵ｱ交付期間　「入札公告日から令和２年４月20日（月）まで」を「①②入札公告日から令和２年６月22日（月）まで」に、3⑶ｱ提出期限　「令和２年４月20日（月）午後４時」を「①②令和２年６月22日（月）午後４時」に、3⑷ｱ提出期限　「令和２年６月２日（火）午後４時」を「①②令和２年７月28日（火）午後４時」に、3⑸ｱ①　「令和２年６月19日（金）10時00分」を「令和２年８月19日（金）10時00分」に、3⑸ｱ②　「令和２年６月19日（金）11時00分」を「令和２年８月19日（金）11時00分」に、5⑺　「Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification：4:00 P. M. 20 April 2020.」を「①② Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification：4:00 P. M. 22 June 2020.」に、5⑻　「Time-limit for the submission of tenders：4:00 P. M. 2 June 2020.」を「①② Time-limit for the submission of tenders：4:00 P. M. 28 July 2020.」に訂正します。

## 入札公告の訂正

令和２年６月17日
東日本高速道路株式会社
代表取締役社長　小畠　　徹

◎調達機関番号　417　◎所在地番号　13

1　掲載日　令和２年５月12日（号外政府調達第84号・18～19ページ）

2　訂正内容　18ページ３段目　3⑵①　「令和２年６月９日まで」を「令和２年６月16日まで」に、3⑶②　「令和２年６月９日16時」を「令和２年６月16日16時」に、3⑷②　「令和２年６月30日16時」を「令和２年７月７日16時」に、18ページ４段目　3⑸①　「令和２年７月８日14時」を「令和２年７月15日14時」に、19ページ１段目　5⑺　「4:00 P. M. 9 June 2020」を「4:00 P. M. 16 June 2020」に、19ページ２段目　5⑻　「4:00 P. M. 30 June 2020」を「4:00 P. M. 7 July 2020」に、それぞれ訂正いたします。

## 入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

令和２年６月17日
支出負担行為担当官
関東地方整備局副局長　加藤　雅啓

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　14

**○第 11 号**

1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　横浜港大黒地区岸壁（－12m）（改良）築造工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
⑶　工事場所　神奈川県横浜市鶴見区大黒ふ頭地先
⑷　工事内容　本工事は、横浜港大黒地区岸壁（－12m）（改良）の撤去工、本体工、上部工、裏埋工、陸上地盤改良工、舗装工、付属工、付帯工、仮設工及び共通工を施工するものである。
⑸　工期　契約締結日から令和４年３月25日まで
⑹　本工事は、入札時に「技術提案（工事全般の施工計画）」を求め、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の試行工事である。また、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の試行工事である。また、本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。
⑺　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。ただし、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。また、紙入札方式の承諾に関しては、関東地方整備局総務部経理調達課に承諾願を提出するものとする。
⑻　本工事は、契約手続きにかかる書類の授受を、原則として電子契約システムで行う対象工事である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙契約方式に代えるものとする。また、紙契約方式の承諾に関しては、関東地方整備局総務部経理調達課に承諾願を提出するものとする。
⑼　本工事は、競争参加資格確認申請書（以下、「申請書」という。）を提出した者に対し、見積参考資料（金抜き設計書）を開示する工事である。
⑽　本工事の完成時の工事成績評定の結果が65点未満であった場合、当該工事成績評定通知の通知月から起算して１年間に行われる関東地方整備局（港湾空港関係）の発注する工事の入札において、総合評価落札方式の評価点等を減じる試行対象工事である。ただし、事故減点は原則適用外とする。
⑾　本工事は、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、入札日から過去２年以内に70点未満の工事成績評定を通知された関東地方整備局（港湾空港関係）が発注し完成した工事がある者に対して、現場代理人と監理技術者の兼務を認めないこととする試行対象工事である。（詳細は入札説明書による。）
⑿　本工事は、調査基準価格を下回った価格をもって契約する者に対して実施する工事完成後の工事コスト調査において、工事コスト調査結果の内容と、低入札価格調査時の重点調査の内容が著しく乖離した場合においては、施工体制台帳の確認やヒアリング等を実施し、乖離理由を検討したうえで、場合によっては工事成績評定を減じる試行対象工事である。
⒀　本工事は、若手の主任（監理）技術者を定期的に指導する経験豊富な技術者（技術指導者）を配置できる「若手技術者登用促進型」の試行工事である。なお、技術指導者の配置については、申請書及び競争参加資格確認資料（以下、「資料」という。）の提出者が選択できるものとする。若手主任（監理）技術者は、公示年度の４月１日時点で満40歳未満の者とする。
⒁　本工事は、「若手技術者を配置」「働き易い職場環境の整備」及び「担い手育成活動を実施」について工事成績評定で評価する工事である。
⒂　本工事は、契約締結後に「積算の内訳」を示す資料を公表する工事である。
⒃　本工事は、ＩＳＯ9001認証取得を活用した監督業務等の取扱いの対象工事である。ただし、低入札価格調査の対象となった場合を除く。
⒄　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等および特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
⒅　本工事は、中間前金払に代わり、出来高に応じた部分払を選択することができる「出来高部分払方式」の対象工事である。
⒆　本工事は、契約締結後、総価契約の内訳として、単価等について合意を行う「総価契約単価合意方式」の対象工事である。なお、本方式の実施にあたっては、単価等を個別に合意する方式（「個別合意方式」という。）を基本とするが、受注者の希望により、単価を一括的に合意する方式（「一括合意方式」という。）も可能とする。
⒇　本工事は、工事期間中の真夏日の日数に応じて、熱中症対策に資する現場管理費の補正を行う試行工事である。
(21)　本工事は、休日の確保を評価する「休日確保評価型（工期指定）」の試行工事である。
(22)　本工事は、港湾建設業等における労働賃金改善に関する取組みを促進するための「労務費見積り尊重宣言」促進モデルの試行工事である。

2　競争参加資格
次に掲げる条件を満たしている者により構成される特定建設工事共同企業体又は単体有資格業者であること。
なお、特定建設工事共同企業体として競争に参加する場合は、別に公示する特定建設工事共同企業体の資格決定を受けていること。
⑴　予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
⑵　関東地方整備局（港湾空港関係）における平成31・32年度一般競争参加資格業者のうち港湾土木工事の資格決定を受けている者であること。
⑶　関東地方整備局（港湾空港関係）における平成31・32年度一般競争参加資格業者のうち港湾土木工事の資格決定の際に算定した客観点数が、1,150点以上の者であること。（会社更生法（昭和14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民